

研究レポート No.776 岩手県農業研究センター

りんご品種「紅ロマン」の品種特性

【1 「紅ロマン」の特性】

- (1) 本品種は、奥州市江刺区の高野卓郎氏が「シナノレッド」の自然交雑実生の中から育成、選抜し、平成23年に「高野1号」で品種登録、「紅ロマン」で商標登録されています。
- (2) 果重は250～300g前後、果形は円錐形、果皮色は濃紅色で不明瞭な縞模様を伴い全面に着色します。
- (3) 果汁糖度は12～14% (Brix%)、酸度は0.45～0.50g/100ml、果汁は中程度で、甘酸適和で食味良好です。貯蔵期間は普通冷蔵で約1ヶ月と推察されます。
- (4) 熟期は農研（北上市）において8月下旬頃です。
- (5) 収穫判定の目安は、ふじ地色カラーチャート指数2.5～3.0、ヨード反応指数2.5～3.0、満開後日数105日前後です。
- (6) 農研において、発芽期は「ふじ」より4日程度、「王林」より1日程度早い。満開期は「ふじ」より1日程度早く、「王林」より2日程度遅くなります。
- (7) 収穫前落果は見られません。



紅ロマン

表1 収穫時の果実品質（2014年）

品種名	収穫日 (月/日)	果重 (g)	硬度 (lbs)	糖度 (Brix%)	酸含量 (g/100ml)	地色		果皮色		ヨード 反応 指数
						ふじ CC	ふじ CC	着色 割合 (%)	着色 割合 (%)	
紅ロマン	8/21	256	16.0	13.1	0.50	3.0	5.4	88	2.5	
さんさ	9/2	232	13.9	14.1	0.39	4.3	4.8	85	2.7	

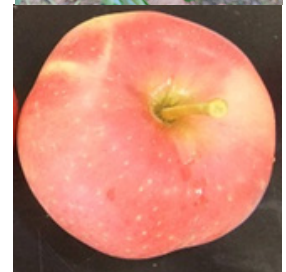
※CC：カラーチャート

【2 留意事項】

- (1) S遺伝子型はS3S5で、「ふじ」「きおう」などの主要品種と交雑和合性です。
- (2) デンプンの抜けや地色の上がりから一気に成熟しやすいため、収穫遅れがないよう注意します。
- (3) 心かび病は「北斗」並と推察されます。7月下旬頃から、縞が明瞭で陰光面まで早期に着色し、地色が上がっている果実を摘果するようにします。
- (4) 年により果肉褐変果（現地では「ゴム症」と表現）が確認されます。外観からの判断が可能であるため、収穫時には混入しないようにします。
- (5) 早期に成熟し、果実肥大が止まる成熟異常果（現地では「ピンコ」と表現）が確認されます。正常果より硬度が低く、食味が劣るため、収穫時には混入しないよう注意します。



心かび病果（左図：正常果、右図：心かび病果）

上図：果肉褐変果
下図：成熟異常果